



第15回エコパークかごしま安全監視委員会について

8月21日(月)に第15回「エコパークかごしま安全監視委員会」が開催され、当公社から廃棄物の搬入状況や埋立状況、環境モニタリングの実施状況について報告した後、覆蓋施設内の散水や埋立作業の状況を確認してもらいました。



見学者デッキより、覆蓋施設内を見学している様子

各委員からは、「搬入状況、埋立状況、環境モニタリングの結果等、特に問題ない。」「作業状況も確認したが、昨年に引き続き、よく管理されていると感じており、今後もこれを継続してほしい。」「埋立地上部に加え、覆土層内の散水管からの散水によって、廃棄物の洗い出しが順調に進んでいると考えられる。」などの意見があり、委員長からは、「施設が安全に稼働していることが確認できた。」との意見をいただきました。

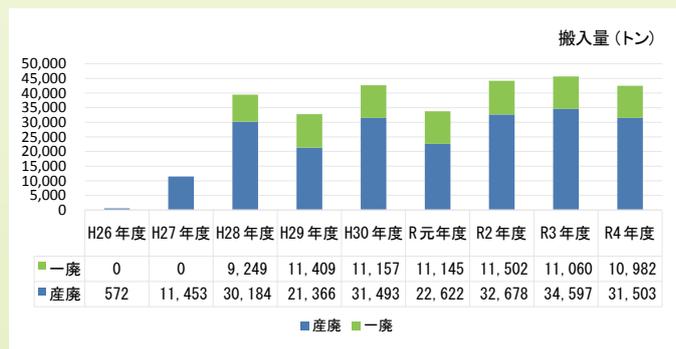
廃棄物の受入状況について

昨年度の搬入量は、4万2,485トンで、3年連続で4万トンを超えました。

〈令和5年8月末現在〉

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物を含む)	142,424	46.04
がれき類(廃石膏ボードを含む)	53,349	17.25
汚泥	34,162	11.04
ばいじん(一般廃棄物を含む)	26,583	8.59
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	26,160	8.46
木くず	13,985	4.52
廃プラスチック	5,931	1.92
13号廃棄物	3,833	1.24
鋳さい	1,506	0.49
動植物性残さ	634	0.21
紙くず	274	0.09
金属くず	287	0.09
繊維くず	190	0.06
合計	309,319	100.00

※小数点以下四捨五入のため合計と一致しません。



平成27年1月の開業から今年8月末までに約30万9千トンの廃棄物を受け入れています。

廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻(一般廃棄物を含む)、がれき類(廃石膏ボードを含む)、汚泥となっており、この3種類で全体の約4分の3を占めています。

教えて!エコパーク先生!



みなさんこんにちは!
 前は工場から発生する汚泥や食料品を加工する際に発生する動植物性残さなどを堆肥化する処理施設について説明しましたね。

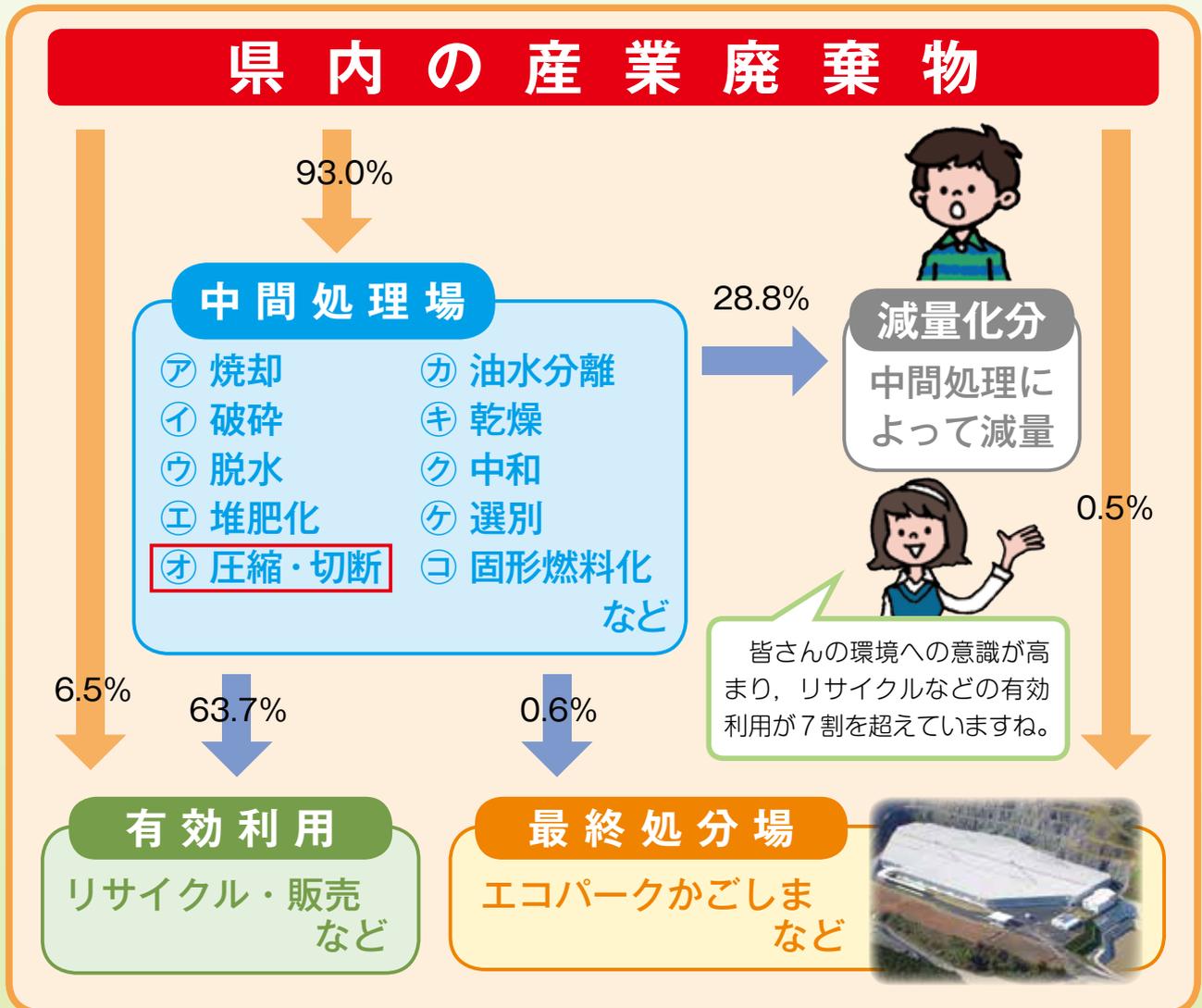
有機性の廃棄物を微生物の力を借りて発酵させることで、農作物の栄養となる堆肥に変化させるんだっただよね。

廃棄物を農作物の役に立つ堆肥へと変化させるのってすごいよね!
 今回はどんなことを教えてくれるのかな。

今回は、㊦圧縮・切断について勉強していきましょう。



産業廃棄物の流れ





圧縮・切断施設では、段ボール（紙くず）や建物の解体で排出される鉄骨や鉄筋（金属くず）などを処理しているよ。

段ボールは、身の回りにある身近なものだね！
処理した後は、どのようになるのかな？



そうですね、今回は、圧縮・切断についての説明と一緒に、処理した後のものについても、見ていきましょう。

【オ】 圧縮・切断

圧縮施設や切断施設は、主に廃棄物のサイズを小さくすることを目的とした施設です。サイズを小さくすることにより、運びやすさや取扱いが簡単になり、作業効率向上に貢献することができます。

廃棄物



紙くず

圧縮施設



圧縮する

処理後



運びやすさや取扱いの向上！
新しい段ボール等へリサイクル

切断施設



金属くず



切断する



運びやすさや取扱いの向上！
新しい金属へリサイクル



サイズを小さくするといっても、以前勉強をした破碎や今回勉強した圧縮・切断などいろいろな方法や目的があるんだね！

そうですね、廃棄物を処理する上で、小さくすることは欠かせないということです。

次回は、少し珍しい油水分離や乾燥といった処理について勉強していくので、楽しみにしててね。



排出事業者様にお話を伺いました！

株式会社サニタリー 代表取締役社長 尾方 洋輔さんにお話を伺いました。



モニターで遠隔監視・集中制御されている焼却施設

当社は、主に一般廃棄物や産業廃棄物の収集運搬・中間処理などを行っています。廃棄物から油や肥料を生成するなどリサイクルにも力を入れており、地域と地球の環境に配慮した「エコアクション21」の認証事業所にもなっております。

今後も、より環境負荷の少ないリサイクル技術や廃棄物処理技術などの探求を進め、地域社会に貢献していくという使命感を持ち事業に取り組んでまいります。

当社からは、主に中間処理の過程で生じた燃え殻を搬出しています。エコパークかごしまが完成するまでは、全て他県へ搬出していましたので、当時と比べると搬出に係る負担は軽減されたと感じています。また、施設全体が屋根で覆われていて計画的に散水されているので粉塵の巻き上げなども少なく、当社社員が乗り入れる処分場として良好な環境が確保されている印象を持っています。エコパークかごしまは県内の産業を支える重要な施設であり、安心安全な処分場として信頼できる施設だと考えています。



環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、毎月、周辺の水質（地下水及び河川水）の測定を行っているほか、年に1回、悪臭や騒音等の調査を実施しており、これまでと同様に、異常は認められていません。



詳しい調査結果は、エコパークかごしまのホームページに掲載しています。

エコパーク周辺の地域振興策について

県道百次木場茶屋線では、エコパーク側から冠岳橋までの道路改良と冠岳桥架替の工事が令和4年度に完了しています。

準用河川阿茂瀬川では、市道付替工事のほか、中流域の護岸工事を令和4年度から令和6年度にかけて順次行っているところです。

市道川永野百次線の旧国道3号から阿茂瀬橋までの区間では、大型車両の迂回路の整備を進めており、令和4年度から橋梁工事に着手し、令和6年度の完成を目指しています。



☆編集後記☆

5月には新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行し、皆様もお出かけする機会が増えたのではないのでしょうか。エコパークかごしまでは、視察見学や児童・生徒を対象にした環境学習も行っていますので、是非ご利用ください。今後とも分かりやすい情報発信に心掛けるとともに、引き続き安心・安全を第一とした施設運営に努めてまいります。

問い合わせ先

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-0033 薩摩川内市川永野町 6924 番地 11
TEL 0996-21-1220
FAX 0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当公社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) でも閲覧いただけます。